**Tsukuba-Hamburg Networking Challenge Grant**

**-International and Transdisciplinary Research Team Building**

**for Early-Career Researchers-**

**申請書（第1期）**

* 注釈文・例示（青字）は申請時に削除してください。
* フォントは10.5ポイント以上で記載してください。「2.研究構想」以降は、適宜図表を使用いただいて構いません。
* 全体を通し、公募要領の［審査の観点］を考慮して記載してください。
* 入力項目2〜6までで3枚以内に収めてください。

**１．基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 筑波大学研究代表者 | 所属・職位 |  |
| 氏　名 |  |
| 性別 | 男・女 |
| 博士号取得年月日 |  |
| 連絡先 | Email:Tel (内線):　　　　 |
| ポスドクの場合、雇用者 (受入教員) の署名 | ポスドクが研究代表者として申請する際には雇用者（受入教員）の承諾が必要です。 |
| ハンブルク大学連携研究者（申請時点では連携希望者名を記入可能） | 所属・職位 |  |
| 氏　名 |  |
| 性別 | 男・女 |
| 連絡先 | Email: |
| 希望する研究費の額(万円) | 応募は50万円を上限としてご記載ください。（内訳は「7.経費の内訳」に記載） |
| 応募するテーマ | 「手書き文化の探究」、「気候変動」の二つテーマのうち、どちらに関連するかを記載してください。 |
| 渡航予定期間 |  |

**２．研究構想**

テーマとの関連性、研究背景・計画

テーマにどのように関与し、また貢献できるかを記述ください。

本研究構想に至った背景や経緯、研究の新規性、学術性（新しい知識又は概念の展開の可能性、研究方法などの点で学術的価値が高いこと）の観点を含めて記述ください。

**３．異分野の研究者チーム形成計画**

以下の点を記述してください。

1) 前例にとらわれず、本質をついた型破りな研究アイデアを基に、現在想定される異分野の研究者又は分野名、多様な分野とのつながりの可能性

2) オンラインツールの活用を含め、渡航前、渡航中、渡航後の計画

3) 異分野のチーム構成について、連携相手と既に話し合いが行われている場合は、その研究者名、研究分野名。又は以前連携した経験がある研究者名、研究分野名。

4) 相手大学側とのチーム形成において、予測される困難、チャレンジ等。

**４．「異分野連携・融合研究」としての意義**

申請者の専門知識で本課題にどのように取り組むことができるか、本プロジェクトの参加を通じてどのように課題を改善したいか、異分野との連携・融合が必要な理由、その相乗効果などについて記述ください。

**５.「国際連携」としての意義**

両大学の研究者が協力して行う国際連携の必要性、学術交流する意義、国際連携の相乗効果を記述ください。

**６. 研究業績**

本研究課題に関連する研究業績（論文、著作・招待講演等）のうち、申請者の主なもの（研究者一人につき5編以内）を記載してください。なお、研究代表者（筑波大学）には下線を付して下さい。

**７. 経費の内訳**

* 本項目は審査に含まれませんが、参考のためにご記入をお願いします。
* 本資金でのパソコン購入は認められません。
* 必要な場合は適宜行を追加してください。

　　　　　　　 　　 単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 旅　　費 | 物品費 | その他 | 合　計 |
|  |  |  |  |
| 旅費（宿泊費・渡航費）　内訳 |
| 事　項・　出張先 | 金　額 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 計 |  |
| その他　内訳 |
| 事　　　　　項 | 金　額 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 計 |  |